

視野を広げ未来を見通すための書籍を選んだ。世界史の教科書に出てくる原書はあえて外し学際的な視点を与えてくれる概説書を取り上げ、「宇宙史・地球史・人類史」「哲学・宗教・芸術」「未来を見る」「日本論」の4つの視点で整理した。

	書籍名	著者	特徴
宇宙史・地球史・人類史	巨視的にものを見るには、宇宙や地球の歴史の視点が欠かせない。 自然科学と人文科学の両面で宇宙、地球、人類の歴史を紐解く軸を持つために以下の書籍が参考になる。		
	137億年の物語	クリストファー・ロイド	宇宙史と地球史・人類史が統合されている稀有な名著。 科学と歴史は連動している。カラーが多く読みやすい大著。 著者は学際的な知見を重視するケンブリッジ大学出身の科学ジャーナリスト。
	人類20万年はるかなる旅路	アリス・ロバーツ	人類の発生と世界への各地への移動に関する壮大な歴史を学ぶことができる。ネアンデルタール人とホモサピエンスとの関係についても洞察を得ることができる。
	人類と気候の10万年史	中川毅	10万年単位で見た過激な地球の気候変動から地球の未来を読み解く。 現在言われる温暖化現象も違った視点から見るができる。
	サピエンス全史	ユヴァル・ノア・ハラリ	ホモサピエンスの歴史を巨視的に詳述した世界的ベストセラー。農業革命を否定的にとらえるなど独自の切り口で人類史についての知見を深めることができる。
哲学・宗教・芸術	激変の時代には本質・根本を知るための哲学や思考に大きな影響を与える宗教について深く知ることが特に重要になる。 以下の書籍で哲学・宗教に関する理解を深めて自らの見識を持つようにしたい。また人間の本質に迫るには芸術への視座も必要である。		
	人類を救う哲学	梅原猛・稲盛和夫	「進歩から循環へ」「欲望から利他の心へ」といった視点から2人の碩学が対談している哲学的思索の書。21世紀に必要な新しい哲学について大きな視座を与えてくれる。
	未来を創る地球倫理	服部英二	総合知の重要性を指摘して、人類が生存するための地球倫理について洞察を与えてくれる。
	哲学図鑑	田中正人	難解な哲学の基礎概念について図表を用いてわかりやすく説明してくれている。 世界のトップリーダーと議論するにはここに書かれている概念は一通り理解できていたほうが良い。その後さらに深めるための原書を読めば理想的である。
	世界がわかる宗教社会学入門	橋爪 大三郎	世界を知るために不可欠な宗教について深く広く学ぶことができる好著。
	イスラームから見た世界史	タミム・アンサリー	日本人は西欧視点でイスラームを学び勝ちであるが、同著はイスラーム教徒が書いている。 視野を多角化するには必読書である。
	聖書大百科	バリー・J・バイツェル	旧約・新約の聖書について、図や絵を用いてわかりやすく説明している。 キリスト教徒との会話には前提となる知識である。
	西洋美術史	木村泰司	美術は感じるものというよりも読むものという趣旨で美術から読み解き西洋社会の本質について説明。美術の重要論点も網羅されており世界のトップリーダーとの会話には必須。
未来を見る	サイエンスやテクノロジーの動向を基礎に置きながら、未来のあるべき姿を考えることが求められる時代である。		
	限界費用ゼロ社会 〈モノのインターネット〉	ジェレミー・リフキン	シェアとIoTによって限界費用がゼロになり、多くのものが無料になる社会を予言する。
	ブロックチェーン・レボリューション	ドン・タプスコット、アレックス・タ	インターネットの次の時代を作るブロックチェーンについて様々な可能性について縦横に論じている。
	シンギュラリティは近い	レイ・カーツワイル	AI（人工知能）の第1人者による未来予測。 AIは人類の知能を超えることができるのかについて知見を高めることができる。
	隷属なき道	ルドガー・ブレグマン	AIの時代において、ベーシックインカム、1日3時間労働、国境の開放などを提案。著者はオランダ人で欧州の新しい知性と呼ばれる。
	パブリック	ジェフ・ジャービス	秘密を握るものがけん力を握る時代は終わり、何事もオープンにする戦略が社会を変えることを提言している。
日本論	日本について客観的に見ることができる視点は世界で活躍するために不可欠である。 以下の書籍をはじめ極力日本を客観的に見るための視座を与えてくれる書籍を読むことが望ましい。		
	日本人の美意識	ドナルド・キーン	曖昧さを尊ぶなど日本人の美意識について独自の視点で論証している。
	ハーバード日本史教室	佐藤智恵・アンドル・ゴードン他	ハーバード大の日本史専門家が日本史についてオムニバス方式で解説。
	イノベーターたちの日本史	米倉誠一郎	幕末から第二次大戦までの日本の政府、企業、科学者たちのイノベーションについて解説。日本人のイノベーターとしての特性をあぶりだす。 経営学者である著者の40年の研究の集大成。